

学校施設再編に関する住民説明会 質疑応答集（中間南小学校体育館）

- 開催場所 中間南小学校体育館
- 開催日時 令和4年12月4日（日） 10時から11時30分まで
- 参加人数 109名

※住民説明会での質疑応答の内容を下記のとおり取りまとめました。取りまとめに当たり、要約や補正を行っております。

※【 】は、ご質問・ご意見を項目ごとに分類したものです。

学校施設再編の取組み全般について	13件	策定委員会について	2件
学校施設の配置案について	4件	住民説明会全般について	1件
学校規模について	3件		
件数 計			23件

ご質問・ご意見	回答
<p>【住民説明会全般について】</p> <p>○<u>少し時間が過ぎても打ち切るのは止めて、皆さんの意見を聞いていただきたい。保護者として、現場の先生の意見を聞きたい。</u></p> <p>【学校施設再編の取組み全般について】</p> <p>○<u>新しい建物をつくって、将来、更に人口が減ったとき、税金も少なくなるが、負債に対してどのような対策をしているのか。将来の子供たちに負債を負わせたくない。</u></p> <p>【学校施設の配置案について】</p> <p>○<u>なぜ、中間東小学校は全くないのか。電車やバスで通学ができる。高</u></p>	<p>(回答)</p> <p>○全ての学校で1時間程度で行っています。こちらだけ長くしますということはありません。</p> <p>○大きな費用がかかることですので、慎重にやっていかなければいけません。ほとんどの学校が、40年を超え、一部は50年を超え、毎年かなりの費用を修繕に充てています。修繕すれば使えるでしょうという意見もありますが、10校の学校にかかる費用をもう少し集中させることによって、もっと集中した教育ができるという考え方もあります。</p> <p>○中間東小学校は、校地面積のうち、有効敷地面積として使用できる割</p>

低差は、いろいろなアイデアを出せばいいと思う。

【学校規模について】

○2から3クラスは、先生方とコミュニケーションがとれ、親として心強かった。1校を進めるのではなく、統合という形で白紙に戻すことはできないのか。

合が大きいですが、校舎と運動場との高低差がかなり大きく、また、第一種低層地域のため、建物に10mの高さ制限があります。今のところ校舎を建てるのは、難しいですが、これを解決できれば、ここを使う可能性も出てきます。

○今ある校舎をずっと使っていくことは非常に厳しい状況です。市民の総意として、これをやめるということになれば、市としてもそう決断する時点があるかもしれませんが、現状では進めさせていただく状況です。

【学校施設再編の取組み全般について】

○今から意見を聞いて、学校再編が始まると言っていたが、何か月もしないうちに5案になって、住民の意見を聞かないまま決まってしまったのかとがっかりした。学校に行けない子が、市役所の適応指導教室まで、ちょっと遠くて、家の中だけで過ごしている子も多い。各学校にコミュニティの場所を作って、高齢者とかが子供たちと集まる場が学校にあるといいと思うので、学校が少なくなるとどうなるのか。案が出る前に住民の声を聞いてほしかった。大きな学校になった場合、どんなリスクがあるのか調査されているのか。どんな風に大きな学校に再編しようという具体的な案がわからない。

(回答)

○令和3年度に学校、PTA 会長や役員、校区まちづくり協議会の皆さんからいろんな意見を聴取させていただく中で、その時点では学校数は決まっておられません、併せて、来年、再来年に学校を再編することはございませんとお話をさせていただきました。

学校施設再編基本計画策定委員会は、学識経験者、地域代表として校区まちづくり協議会会長、小中学校PTA 代表、校長代表、教員代表、福岡県教育庁の方々にご参画いただき、協議をいたしました。

余裕を持って子供たちが生活をして、友達と一緒に話をするようなスペースを今の学校の中で作るのが非常に難しいところがありますので、そういったところも含めて学校再編を考えています。

教育の中身については、当然、教員の皆さんの意見を聞かないといけません。決まった時に、この学校でどういうことをやっていこうか、何ができるのか、しっかりと意見を出していただいて、それを生かした学校づくりをしていく必要があります。

大きな学校の調査はもちろんしておりますが、調査をしていく中で、いろんな事を協議しています。

【学校施設再編の取組み全般について】

○学校施設再編も中間市の未来のまちづくりに関わる最重要課題だと考えている。たった7回の策定委員会、保護者や教員代表の合意が得られないまま、強行採決されたことは、納得できない。説明会の中でも先生が策定委員会の内容を十分見たけれども、反映されていないと意見が出ている。どういう風に思っているのか。

【学校施設の配置案について】

○舞鶴小中学校の動画は、コミュニティ広場に中学校を併設するという想定のもと、見せたのか。説明会の中でも、体育館や図書館を共有することはあり得るという説明もあったが、社会教育と学校教育は目的が違うのではないか。共有などあり得ない。先ほど映されたのは、学校の2階に運動場、プールも近い、体育館も近い、こんな学校を見せつけても、一向にいいとは思わない。

【学校施設再編の取組み全般について】

○審議の中で、学校と地域コミュニティについて、十分な議論がされていないような気がする。ふれあいバザーや飛行機とばし、かるた大会、学校の草取りなどみんなで協力してやってきた。こういうことができるのは、学校が歩いて行ける場所にあるからだと考えている。子供との交流もそうではないか。中間南校区は、保育園、小学校、中学校、高校ととてもいい環境にあるのに、今回の案には、全く拳がっていない。地域住民の声をどのように受け止めているのか。子供たちが減るから統廃合するのではなく、どのようにしたら子供たちが増えるのか、

(回答)

○学校施設再編基本計画策定委員会は、1年をかけて、約2か月に1回程度計7回、その都度、必要な資料を提示し、検討課題を出し合って、持ち帰っていただき、その結果をまた持ち寄っていただいて、話を詰めてきたところです。決して7回が少ないということは思っておりません。

○新しく新設する学校等にも当然のことながらコミュニティの核としての存在意義は大きいと思っております。市の施設、市民の財産ですので、皆さんと一緒に使っていただけるのは使っていきたい。中間南小学校の体育館も生涯学習の施設として使っていただいている部分もあります。

舞鶴小中学校の映像については、決してコミュニティ広場敷地を前提とした動画ではありません。小学校3校、中学校1校を学校再編によって建設した施設であり、浸水想定区域に、コミュニティの拠点となる公民館を併設した施設であることから動画を流させていただきました。

○学校と地域コミュニティの関係について、当然、考慮して、設定していきたいと思えます。中間南小学校がなくなることについて、いかなものかということは、ご意見としてお伺いしながら、さまざま検討していきたいと思えます。

若い人たちが住みたくなるのか、こういう政策をどんどん打ち出して
いただきたい。各学校は防災拠点になっているが、十分な議論はされ
ていない。これからの問題というが、これからではなく、同時に考え
なければならない問題。後手後手の政策ではいけない。

【学校施設再編の取組み全般について】

○学童保育クラブについて、再編されると、学童保育クラブの下校時は
どういふ対応をしていくのか。スクールバスの話が出ていたが、小さ
なまちに何台も何台も走らせてよいのか。非行危機の問題も含めて反
対する。

【学校規模について】

○不登校や支援学級がどうなるのか心配。教職員の負担が今以上に大き
くなり、支障をきたすのではないか。支援学級で教員をされている先
生方も、学校が統廃合されると、子供たちがどうなるのかと不安の
声を聞いている。小規模校は世界の流れ、子供たち一人一人に目が届
き、不登校やいじめの問題なども早く見つけ出すには、小規模校が
いいのではないか。学校再編ではなく、教育予算を増やし、学校の
現状を維持すべき。若い人たちが中間市に本当に住んでよかった、
また住みたくなる、こうした教育環境施策を構築することこそ教育
委員会の仕事ではないか。

○学校をつくれれば、学童保育は切っても切り離せない問題です。通学区
間が長いところは、スクールバスも必要かもしれません。学校数が縮
小していくのであれば、スクールバスの数も少なくなるでしょうし、
学童保育は基本的に、ある程度の時間を超えたとお迎えに来ていた
だいて子供さんをお返しすることになります。

○特別支援教育について、かなり少人数に絞って対応しており、確実に
対応できる小規模の形、これを続けていきたいと思っています。加配
につきましても、集中して学校に充てることができれば、更に進めて
いけるのではないかと考えています。その他の意見は、しっかりと受
け止めて検討してまいります。

不登校について、人間関係やさまざまな理由から来れない子が多くい
ます。集団が苦手な先生とだったら話ができる子、保健室登校から始
めて、徐々に個別のスペースで学習する子もいます。場所の確保が必
要です。相談室等の施設の充実やスクールカウンセラー、スクールア
ドバイザーなどの専門家による支援体制の充実を図っていきたいと考
えています。

【学校施設の配置案について】

○中学校のコミュニティ広場敷地の配置案について、新中学校は浸水想定区域に立地するとある。避難所としての使用は想定しているのか。洪水などの避難所としての機能を果たせないと思う。

【学校施設再編の取組み全般について】

○机の上が、教科書やノートでいっぱいだから、机を大きくして教室を広くするというのは、屁理屈だと思う。やろうと思えば、教科書やノート、ワークとかそういうものはいらなくて、iPadで全部できると思う。机の上がいっぱいになるというのは、ICTの活用を捨てていると思う。

○スクールバスの登校について、遅刻した生徒の遅れた時間の分の勉強はどうするのか。どんな大きさのバスなのか聞きたい。

【策定委員会について】

○策定委員会について、1週間で7回ではなく、2か月に1回行った方がいいと言っていたが、頻度の問題ではなく、少ないと思う。

(回答)

○コミュニティ広場敷地は、3m未満の浸水想定区域です。避難所機能としては、建物の建て方など、構造の仕方によっては、避難所機能等の役割を担うことができると聞いています。今回、浸水想定区域も案の中に入っています。案に入っていない中間小学校は、遠賀川に面しているところであり、遠賀川の氾濫を想定し、同じ浸水想定区域でも案の中に入れておりません。

○机について、iPadだけ置いて学習することも可能ですが、高校の入試もあり、絶対を書くことが必要です。iPadを活用しながら教科書やノートを広げて書く学習も必要かと思えます。ロッカーも小さい、本当は大きなスペース、空間で子供たちを学習させたいということからの提案です。

○スクールバスの状況について、設置しなければならなくなったときに、徒歩、自転車通学圏外に設定するわけですから、その時にある程度の人数が分かり、それに応じたバスを準備することになります。

○策定委員会について、ある程度の期間をとって行ったことでありますので、最終的には、全会一致にはならず、多数決を採る形にはなりましたが、協議の中で、前向きな話ができただのではないかと考えています。

<p>【学校施設再編の取組み全般について】</p> <p>○<u>建物をつくってから教育の中身を考えるという回答があった。建物をつくってしまっ、それに入らない教育の内容は、やらないことになってしまう。教育の内容が、建物をつくった後に、どんどん増えていったら、学校を増やすのか。</u></p> <p>○<u>学校を設定することは、学校の数を決めること。学校の数を決めてから中身を決めるのであれば、内容が学校の数に見合わなければ、見合わない分はやらないということか。学校の数に合わない教育内容が増えてきた時、更に学校を建てるのか。教育の中身をまず考えることが先ではないか。</u></p>	<p>(回答)</p> <p>○学校を建ててから教育の中身を考えるということでは決してありません。学校を設定してから、そこで何ができるのかをきちんと考えて、建物につなげていきます。</p> <p>○学校の数が設定された段階でも教育の中身はきちんと整理していけると思います。今やっていることも当然引き継ぎ、学校の数が設定された段階でできないことが、想定されづらいです。</p>
<p>【学校施設の配置案について】</p> <p>○<u>コミュニティ広場に学校が建ったら、子供たちが遅れ、親御さんが連れて行くときに渋滞とかいろんな面で大変なことになるのではないか。</u></p> <p><u>市立病院が閉鎖されたまま、いつまで経っても壊もしないし、いろんな事もしないままあることは、非常に残念で仕方ない。市立病院がなくなってお年寄りも子供たちも本当に不便さを感じ、市に病院がないこと自体がとてもおかしい。</u></p> <p><u>中間南校区は、市民と子供たちがとてもいい繋がりをもって進んでいる。そういうのが、統合されてなくなってしまうと、子供たちはいい環境の中で育たないのではないか。穏やかな子供に育つのは市民と住民と色々な関係があっ、やさしい子供に育つのではないかと思うので、学校の統合はあまり望んでいない。いろんな考えをする前に、市立病院を建て直してほしい。</u></p>	<p>(回答)</p> <p>○学校の場所の設定によっては、大きく変わってくると思いますので、考慮しながら、場所の設定について考えてまいります。</p> <p>市立病院を再度つくってほしいということについては、教育委員会でお答えすることではございませんので、ご意見としてお伺いいたします。</p> <p>子供の環境が周りの大人たちに支えられてつくられているから、中間南小学校はなくせないということについて、中間市にある6つの小学校全てに言えることです。校区まちづくり協議会の皆さんもすごく頑張って子供を育てていこうという意識を持っていらっしゃると思います。そこだけでそのことを考えるのは非常に苦しいのかなと考えています。</p>

<p>【学校施設再編の取組み全般について】</p> <p>○ハード面は映像で見せていただき、とても素晴らしいと思う。ソフト面について、子供たちが通ってどう思ったのか具体的に聞きたい。スクールバスを使って、こういう効果が得られたとか、子供たちが通ってどう感じたのか、先生たちはこのような教育結果が得られることができたとか、親としては正直そこが一番気になる。</p>	<p>(回答)</p> <p>○先駆的に行っているところの情報はまた集めてご提示させていただきます。学校の規模によって考えられるメリット、デメリットがあります。市全体で再編を考えていかなければいけない状況の中で、クラス替えができない状況、1クラスが決して悪いということではないですが、友達との繋がりや出会いに乏しさを感じ、中間市全体でそういったことを踏まえながら再編を進めていきたいと考えています。</p>
<p>【学校施設再編の取組み全般について】</p> <p>○中間小学校の5年生は27名で1クラスしかありません、再編することによって、学級数が増えたり、友達の数も増えて、競争もかなり出てくると思うので、基本的には賛成。その代わりに、策定案の中に、小中一貫校に関しても賛成だが、その案がなかったのが残念。なぜなのか教えていただきたい。</p>	<p>(回答)</p> <p>○全7回の策定委員会の中で、小中一貫校についても議論させていただきました。その中で、まず、小学校は小学校の再編、中学校は中学校の再編を進めて、更に小中の連携を深めて教育を推進していくこと、そして然るべき時期に、いろんな事例を踏まえて、将来、本当にまた必要性が出た時に、検討していかなければならないと思います。今回につきましては、それぞれの再編の中で、中学校を先行して再編する取組みを進めさせていただきたいという結論になっております。</p>

【学校施設再編の取組み全般について】

○スケジュールの関係について、来年1月中旬には結論がでるのか。今後、小学校並びに中学校が新しくできる部分、50年、60年のスパンで考えれば、あまりにも時間が無さ過ぎる。更に分母を低くして、小学校単位の話合いをしていただければ、保護者の皆さまのより密な意見を聞けるのではないか。小学校、中学校に通わせる保護者がどう思っているのか。先生たちがどういう風な思いで現在やっているのか。回数ではなく、中身の問題だと思う。
資料を初めて見たが、どれがいいか分かりません。より細かい資料、より密な部分を提示すれば、その時その時の方々が納得できるのではないか。今日で終わりではなく、1月中旬で終わりでなく、1年も2年もかけて、60年、70年先のことの検討をお願いしたい。

(回答)

○今回お集りの方には、ご意見をいただきたいということでお集りいただいています。これまでの話の経緯、策定委員会の経緯は、ホームページ等に掲載しています。
策定委員会では、校区まちづくり協議会の方々やメンバーになっている方々に、地域で話を広めてくださいとお願いをして進めてきたつもりです。決して、これで説明会が終わったとは思っていません。また、1月で決めてしまうということでは決してありません。
小学校1、2、3校、中学校1校もしくは2校の案の中で、こういう風なやり方がありますと、皆さんの意見を伺い、その意見を取りまとめて、今度は、市の方で、まちづくりや経費を含めた判断に移ってまいります。

【学校施設再編の取組み全般について】

○教職員で、3,000筆以上の署名を集めた。中身は、中学校1校に教職員としては絶対に反対であること、教育上の課題、困難も全部記した上で、1校には反対であること、住民の十分な議論、深い議論をしてほしいことをお願いした署名を集めた。

子供は意見を表明できるので、是非、子供の意見を聞いてもらいたい。決まった後ではなく、是非、子供たちが通いたい学校と言うのであれば、早々に子供の意見を聞く場を設けてもらいたい。

【策定委員会について】

○教員はだいが意見を述べた。策定委員会で十分議論をしたと言っているが、憤りしかない。大きい規模になって困難な状況が出てくることを述べたが、ほとんど無視された。それから小学校に関してはほとんど議論されていない。ほとんど議論されていないにも関わらず、策定委員会の中で十分議論を踏んだとおっしゃるのか。法律に則って、住民と深い議論をした上で進めようという姿勢が市にはあるのか。

【学校規模について】

○それから35人学級に必ずなる。それなのに、40人学級で計算されて、あたかも学級数がすごく少ないような計算をされている。35人学級が方向性なのに、何故その部分だけが将来を見据えないのか。

(回答)

○署名を集めて、中学校1校に反対だということは、意見としてお伺いしたいと思います。

子供の意見を聞く義務は、我々も理解しています。ただ、意見を聞きながら、そして判断するに当たっては、やはり大人が率先して進めなくてはいけないところもあると思っています。子供の意見を一番重視すべきは、実際に学校をどうするか決まって、学校の中で何をするのかということについて、子供の意見、教員の意見もしっかりと取り入れ、設定していきたいと思っています。

○策定委員会の中で、小学校については全く討論されていないとおっしゃいましたが、討論がされていないということは決してないと思っています。

○35人学級につきまして、小学校はすでに方向性として決まっています。中学校は決定していない状況ですから、40人で計算しています。